

市議会だより

9月定例会

平成30（'18）年11月1日発行



坂田保育所

らいおん組（年長さん）の子どもたちです。
運動会でのお遊戯を練習しています。
「火炎太鼓」のポーズをカッコよく決めました。

主な内容

- ◎9月定例会
議案審議と採決結果
タブレット端末の導入
2～4ページ
- ◎一般質問（16人）
5～12ページ
- ◎議会からのお知らせ
意見交換会
詩吟発表会
編集後記ほか
13ページ
- ◎議会報告会開催の
お知らせ 14ページ

◆ 9月定例会日程 ◆

- 8月30日 開会、市長職務代理者の報告、市長の行政報告、委員会の委員長報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託、市長提出議案の質疑・討論及び表決
- 9月 4日 一般会計歳入決算質疑
- 5、6日 総務常任委員会
- 7、10、11日 民生経済常任委員会
- 12、13日 建設文教常任委員会
- 14日 一般質問（保坂・渡邊・岩崎・新島・岡安）
- 18日 一般質問（岡野・市川・新井・相馬・星野）
- 19日 一般質問（仲又・島村・江森・北村・佐藤正）
- 20日 一般質問（新妻）
- 26日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会（所管事務調査）の委員長報告、市長提出議案（決算の認定について）の総括質疑・討論及び表決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、閉会

9月定例会 議案審議

平成30年9月定例会は、8月30日から9月26日まで28日間開催されました。今定例会では、市長提出議案15件、議員提出議案1件が提案され、審議されました。

平成29年度一般会計・特別会計歳入歳出決算について、認定となりました

一般会計及び4特別会計の歳入歳出決算の認定にあたり、総務・民生経済、建設文教の各常任委員会が、合計7日間にわたりそれぞれの所管事務について慎重審議を行い、執行部に対し次の15項目について指摘・要望しました。なお、その経過及び結果は定例会最終日に報告され、反対討論がありました。採決の結果認定となりました。

総務常任委員会からの指摘・要望事項

- 職員人件費である時間外勤務手当については増加傾向にあることから、業務量に見合った適正な人事配置、管理職による組織の業務管理、不要不急な業務等の見直しを徹底し、職員健康管理や財政負担軽減に努めること。併せて、職員の能力を活かせる、働きやすい職場環境の形成に努めること。
- 平成29年度当初の市の各審議会委員の女性の割合は26.4%であったが、桶川市第3次男女共同参画基本計画の最終年である30年度は、計画の意義や内容を改めて確認するとともに、審議会等政策決定過程における女性の参画を30%に達成するよう努力をすること。
- べに花をシンボルとした事業については、産地の歴史や関連商品開発・普及を図るべく企業等との連携促進をするなど周知拡大を図ること。また、べに花ふるさと館は年々利用者が減少傾向にあるが、新たなイベント等の企画や食事メニューの開発等積極的な事業内容の改善を図るなど、一層の経営努力をすること。
- 財務会計システムの効率的運用を図るとともに、市有財産の状況の把握と台帳データ等の共有を図りながら適切かつ効果的な管理を行うこと。新庁舎施設の管理にあたっては、光熱水費等維持経費の軽減のための対応に努力をすること。
- 国民保護業務や防災業務については、想定外の災害や大規模災害に対応するためのシミュレーションを日頃から行うとともに、全庁挙げての危機管理体制を整えるなど積極的に対応をすること。

民生経済常任委員会からの指摘・要望事項

- 旧飛行学校整備にあたっては、先の戦争の反省の上に立って、平和を発信する施設とし、平和都市宣言に相応しい内容とすることを求める。
- 高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築に努めるよう求める。
- 保育所及び放課後児童クラブの待機児童対策を早急に講じ、実質的に待機児童ゼロの早急な実現を求める。
- 乳幼児が犠牲となる痛ましい事件が二度と起こらないよう、乳幼児健診率の向上や未受診者へのフォローを強化し、要保護児童の早期発見や適切な支援を行うこと。その為に、個人情報に配慮した上で、庁内関係各課や児童相談所等との連携を強化することを求める。
- 民生委員・児童委員や自主防災組織等、市民の為に活動する方々が活動しやすいよう、行政からの適切な情報を提供することを求める。その際には、個人情報に十分配慮するものとする。
- 特定健康診査や後期高齢者健康診査の受診率を上げるために、市民への更なる周知を徹底することを求める。

建設文教常任委員会からの指摘・要望事項

- 現状実態として、誰でもできる業務を非正規の職員が請け負っている状況にない。委託事業によるものも含めて、このような非正規の職員が安心して働けるよう総合的な労働条件の改善を検討すること。
- 事業の実施に必要な収入と支出の総額、お金の流れを明確化することで、会計面の透明性を確保し、また、予算執行についての地方公共団体の責任を明確化するため、収入及び支出は、すべてこれを歳入歳出予算に編入しなければならない「総計予算主義の原則」に基づき、事業全体を再確認すること。
- いじめのアンケート結果について、学校任せにせず、教育委員会として独自の調査と原因把握を行い、いじめ対策委員会と共に対策を講じること。
- 学校徴収金が保護者の経済的負担につながることを十分認識し、少ない費用で大きな効果が得られるよう努めるほか、副教材等の購入品、修学旅行、他の学校行事等について定期的に見直しを行い、保護者の負担軽減に努めること。

補正予算

主な質疑は次のとおりです。

《小中学校整備事業・安全対策工事》

問 大阪府北部地震によるブロック塀の倒壊を受けての工事だと思いが、工事の内容は、安全点検の結果、現在の建築基準法に適合していないブロック塀の箇所は、プールの所が9カ所、正門等の門の所が4カ所、敷地境界が2カ所、合計で15カ所です。工事は、ブロック塀を撤去し、フェンス等を設置するものです。

答 現在の建築基準法に適合していないブロック塀の箇所は、プールの所が9カ所、正門等の門の所が4カ所、敷地境界が2カ所、合計で15カ所です。工事は、ブロック塀を撤去し、フェンス等を設置するものです。

条例等

各常任委員会に付託された条例の質疑で、主なものは次のとおりです。

市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

市議会議員の選挙で選挙運動に使用するビラの作成費用を市が負担する

制度を設けるものです。

問 公費負担の基本的な根拠を伺う。

答 公職選挙法の一部改正により、ビラの上限枚数が4,000枚配布できるようになり、同法施行令により1枚当たりの上限単価が7円51銭と規定され、これらに合わせ定めるものです。

桶川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、従事者の資格を改めます。

問 放課後児童支援員の門戸を広くするため、改正とのことだが、質を確保するための対策、育成について伺う。

答 人数と質の確保が重要と認識しています。保育の質の確保、向上のために定期的に研修を行っています。

桶川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

一般及び産業廃棄物の手数料について、廃棄物の適正処理を継続するため改正するものです。

問 値上げにより、来年4月の時点で、混乱があるのではないかと懸念されるが、市はどう対処するのか。

答 家庭ごみの搬入料金を、今回ゼロから110円に上げますが、20キロ未満は、減免という形で別途取り決める予定です。大半が今までどおり無料となり、大きな混乱はないと考えます。

問 今まで無料で受け入れていた家庭ごみに、110円という手数料を設定する理由を伺う。

答 条例の中で多量ごみの定義がはっきりしていませんでした。他の団体の条例では、多量ごみは、引越しゃその他臨時的に出るときという位置づけで明記しているところもあります。そういった明記がない団体は、何キロ未満は無料という位置づけで線引き

をしています。

桶川市では、その扱いが曖昧であったことから、定義をはっきりさせることが一番の理由です。

※市民負担の増大をまねくなどを理由に反対討論がありました。賛成多数で可決となりました。

委員会（議員）提出議案

議会は、1件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書（要約）

今般、児童相談所が関与しながら、東京都目黒区で両親から虐待を受けた女兒が死亡し、本市においても、本年5月16日、1歳の男児に十分な食事を与えず衰弱死させるという痛ましい事件が発生し、慙愧に堪えない。

（中略）

よって桶川市議会は、責任を痛感し、こうした痛ましい事件が二度と繰

り返されないために、政府に対し、児童虐待防止対策のさらなる強化に向け、次の事項に取り組むことを強く求めるものである。

4 児童相談所間及び児童相談所と市町村の情報共有については、転居があった場合、引き継ぎの全国共通ルールを定めること。また、児童相談所や市町村、警察とは、必要な情報がタイムリーかつ確実に共有できるようにするとともに、適切かつ効果的な連携システムを新たに構築すること。

1 平成28年度に政府が策定した「児童相談所強化プラン」を拡充し、市町村と連動した児童虐待防止体制の強化や中核市・特別区への児童相談所の設置も加えたプランを新たに策定するとともに、地方交付税措置を含めた必要な財源を速やかに講ずること。

5 児童相談所の窓口につながるまでの間に未だ半数以上の電話がつかない実態を速やかに検証・分析し、その結果を踏まえ、全国共通ダイヤル「189」を児童虐待通告に限定し、無料化の検討を含め、運用の改善に努めること。

2 保護者が健全に養育できるよう、児童相談所の人員を増加し、市町村との役割分担をさらに明確にし、関連する組織が連携し一体となって取り組む体制を強化すること。

6 いじめ防止対策と同様に子どもの変化に迅速に対応できるよう保育所や幼稚園・学校において虐待対応を位置づけた組織を明確化し、虐待対応体制を整備すること。

3 児童養護施設やNPO等の民間機関団体や他の行政機関等への支援を強化して、「児童相談体制改革」を、迅速に構築すること。

迅速に構築すること。

採決結果／タブレット端末の導入

9月定例会で審議された議案とその結果

◆市長提出議案

○は賛成 ×は反対 -は棄権 ※議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	新風クラブ21					新政会					公明党		日本共産党	無党派				
			新妻亮	江森誠一	新島光明	新井孝雄	佐藤洋	島村美貴子	岡野千枝子	岡安政彦	糸井政樹	相馬正人	加藤ただし	市川幸三	仲又清美	岩崎隆志	保坂輝雄	佐藤正広	星野充生	北村文子
第39号	平成29年度桶川市一般会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
第40号	平成29年度桶川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第41号	平成29年度桶川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号	平成29年度桶川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第43号	平成29年度桶川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第44号	平成30年度桶川市一般会計補正予算(第1回)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第45号	平成30年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第46号	平成30年度桶川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号	平成30年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第1回)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第48号	平成30年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	桶川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	桶川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第52号	市道の路線の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	市道の路線の廃止について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆委員会提出議案

委第2号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	可	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
------	------------------------	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

議会のICT化～ペーパーレスの推進等に向けて～

市議会ではタブレット端末を導入しました。タブレット端末の導入に向けては、平成29年9月に議員5名で構成される「タブレット端末導入推進チーム」を立ち上げ、目的や使用方法、運用基準、機種・システムの選定について協議を行ってまいりました。

その結果、平成30年8月にタブレット端末が導入され、9月定例会、委員会において活用が開始されました。

今後も、議会のICT化に向けて、タブレット端末の活用を推進していきます。



導入目的

議会運営の効率化のため、タブレット端末を導入し、議会資料のペーパーレスの推進や議員活動での活用を図る。

導入機種

iPad Pro (アイパッドプロ) 12.9 インチ



一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

桶川駅東口整備について



保坂 輝雄



問 駅前広場と駅通りの買収に関する現在の進捗状況を伺う。

答 本年8月現在で駅前広場は約66%、駅通りは約18%の用地取得を完了しています。

問 駅前広場の事業認可期間は来年3月までだが、期間内の完成は困難であると思う。そこで、実際の完了時期の見込みを伺う。

答 来年3月までの完了は難しいため、今年度中に事業認可期間を延長する旨の変更手続を行う予定です。

問 完了時期は未定ですが、駅前広場の早期整備を目指してまいります。

答 駅東口エレベーターは来年3月に設置完了の予定だが、予定通り完成できるのか。

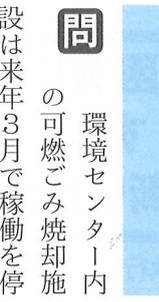
問 JRと県の越谷建築安全センターとの耐火化改修の調整が難航し、具体的な完成時期を示せない状況です。

答 JRと県の越谷建築安全センターに伴い、計画では、道路がみずほ銀行から左側へカーブしてロータリーへ至ることにより、エレベーター1階乗降口は歩道として整備することが予定されている。

問 しかし、エレベーター設置が多少遅れたとしても、駅前広場はさらなる遅れが予想されるため、当面の間、1階乗降口は車道に面することになる。そこで、安全対策のため、1階乗降口周辺を駐車禁止にすることを提案するが、どうか。

答 上尾警察と相談し、検討します。

ごみ収集と処理について



渡邊 光子



問 環境センター内の可燃ごみ焼却施設は来年3月で稼働を停止し、燃えるごみは複数の近隣団体へ持ち込んで処理することとなる。

答 環境センターへの粗大ごみ等の持ち込みに関し、受け入れ等の変更はないのか。

問 稼働停止に伴い、分別と収集日の変更は予定していません。

答 環境センター内のリサイクルセンターでの障害者の雇用は、今後も継続されるのか。

問 今回の稼働停止は焼却施設のみです。障害者の雇用に変更はありません。

6月定例議会一般質問の都市整備部長の答弁について



渡邊 光子



問 平成21年2月1日から施行のハート・アンド・ハンド道路サポート制度「以後（サポート制度）」というには作業中の怪我や、他人に怪我などを負わせたとき「桶川市で加入している範囲内の補償を受けることができる」とある。「サポート制度」への登録は必要と思う。現在道路サポート的活動をしている方は、自宅前の桶川市で除草すべき道路が除草されないことを見かねて除草し花を植えている。傷害等の補償、ごみ袋や手袋の支給のほかに必要な支援等あることを丁寧に説明し、積極的に「サポート制度登録」を勧めたいことを伺う。

答 サポート制度を活用して道路内の植樹帯や植樹ます内の除草、ごみ拾い、花植え等の美化活動の協力を得ています。制度のPRに努め、丁寧に説明し理解を得て、多くの協力が得られるよう努めます。

問 相談を受けた職員は、市民から相談を受けたのが木曜日の閉庁間際、金曜日は休暇をとり、月曜日になってからも相談者への返事は、なかったかの様子だった。他の職員の協力も得て早く相談者へ返事をするべきと思うが、如何か伺う。

答 組織で受けた相談です。担当内情報共有は当然です。今回の場合は隣の同じ担当者引き継ぎ早い対応ができました。情報の共有等を徹底するよう、職員には私からも伝えます。

問 市有地にごみストッカー（ごみ集積所）置き場として地域の人と桶川市と使用貸借契約をした。現地の私有地は、ごみストッカーの約3倍の面積だ。地域の人はごみストッカーの設置面積の土地だけを借用したと思っており、ごみストッカーのより他の面積の除草等は行わない。担当課では「ごみストッカー設置部分だけ等の土地使用貸借契約はない。実際の使用部分面積を対象とせず、その地番の筆を対象とする」という。ならば特記事項として、ごみストッカー設置部分以外の土地は地域で除草する等、契約書に記入するのが一般と思うが、如何か伺う。

答 今ごみ置き場を利用している方々の地域の課題として話し合いをして解決をするのが大切だと考えます。土地使用貸借契約については、その話し合いの状況を見ながら対応します。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

生活困窮者自立支援制度について



岩崎 隆志



問 本市が行っている事業は。

答 自立相談支援事業は、生活保護に

陥る前から困窮の状況に応じて必要な支援を行う事業で、相談支援員により自立支援計画等を作成し、自立に向けて支援するものです。

住居確保給付金事業は、離職等により住居を失うおそれがある方、もしくは失った方に家賃相当額の給付金を支払うものです。また、家賃を支援することで安心して求職活動に取り組んでいただき、早期の就労につながるよう支援を行っているところです。生活困窮者自立支援事業で、唯一給付する事業です。

就労準備支援事業は、就労に必要な訓練やセミ

ナーの受講、生活習慣の改善等に向け、就労支援員の支援を受け、就労を目指す事業です。

学習支援事業は、生活保護世帯や児童扶養手当世帯において中高生の子どもたちに対し元教員や学生ボランティアの方が生徒とマンツーマンで、一人ひとりに合った学習の支援を実施しています。

問

経済的困窮の課題を抱えているかどうかにかかわらず、全ての相談を断らない。希望を持って生きる道を開くとの決意を伺う。

答

相談は金銭、仕事、病気、借金、家族関係等、非常に多岐にわたっています。市では、全ての相談を断らないという姿勢は今までも

今後も変わることなく行ってまいります。

特殊詐欺等防止対策機器購入費補助事業について

問 本市の見解を伺う。

答 自動応答録音装置の費用補助につ

きましては実施していませんが、電話用の簡易型疑似録音装置の無料配布を行っています。自宅の電話機に貼りつける小型のもので、ボタンを押すと、「この電話は、振り込め詐欺、悪質電話防止のため会話内容を録音します」と音声流れ、悪意の通話者が電話を切るよう警戒を促す仕組みとなっています。

生活困窮に関わらず、すべての相談を断りません。

執行部の答弁

グランドゴルフ場の今後の整備計画について



新島 光明



問 下日出谷中央公園予定地に、グランドゴルフ利用スペースは確保できるのか、また整備まではどの程度かかるのか伺う。

答 予定地は区画整理で生み出した1.13haで、市移管後に公園整備の予定です。時期やレイアウトは未定ですが、近隣に大きなグランドがないことから、多目的広場を中心とした公園を整備することも一つと考えています。今後は、市移管後、地元との意見交換、その後設計となり、33年度に工事着手を考えています。尚、その間は、現状のまま使用可能です。

問 予定地は、1.13haと大きい公園だ。一部はグランドゴルフ利用可能な広場として市

が主導して整備すること

答 予定地でグランドゴルフをして公園周辺の方も多いため聞いています。そういう方の意見も含め聞きながら、整備方法を決めていきたいと考えています。

桶川市における洪水対策について

問

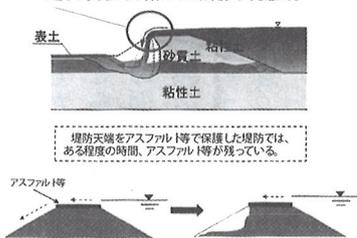
西日本豪雨被災では、堤防の決壊で、ハザードマップと同様の被害が起こった。桶川市ハザードマップでも、2.5mの浸水が想定される場所がある。この浸水は荒川堤防の決壊が前提だが「想定される決壊場所」

「決壊後の住宅地迄の到達時間」「堤防の改修計画」等を伺う。

答

ハザードマップ上の想定決壊場所は柏原集会所付近です。破堤後の想定到達は、1時間で柏原集会所付近、8時間（1時間に見直し予定）で江川周辺が想定されています。国交省では、堤防の高さ及び幅改修を行う予定ですが、それまでの間は、危機管理型ハード対策として、堤防天端の保護（左図）等を実施予定しています。工事は今年、柏原樋管、来年は、宮下樋管周辺が予定されています。

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制すると共に、越水した場合には法前部の崩壊の進行を遅らせることにより決壊までの時間を少しでも延ばす。



国土交通省ホームページより
危機管理型の堤防天端の保護

桶川市の防災対策について



岡安 政彦



問 災害時要支援者の救助にあたり障

がいの内容により救助の仕方が変わるので、事前に分かるのが望ましいが現状では登録者が少ないので、登録の推奨が出来ないものか伺う。

答 災害時の要配慮者への対応は、重要な事と考えています。健康福祉部の協力を得ながら検討してまいりたいと考えております。

問 避難場所として小学校があるが、

小学校区には、各町会が重複するなかで、それぞれの自主防災組織の方々が入ってくると思われるが、実際、誰がどう指揮系統をとって避難場所設置をするのか伺う。

答 避難所の運営に当たっては、各自

主防災組織の連携が図れるように、桶川市自主防災組織連絡協議会を対象としたHUGと呼ばれる避難所運営ゲームを実施しています。その講座では、同一小学校区の方を同じグループとして、連携が図れるような取り組みを進めています。

問 岡山県倉敷市へ被災地支援のため市の職員の派遣が行われたことでの経験をどう活かすのか伺う。

答 今回、派遣した職員からの報告では、行政主導ではなく、区長や自主防災会のリーダーが中心となって避難所運営を行っていることが非常にうまくいっていると報告を受けました。今後は、区長や自主防災組織の会議等で、派遣

職員が報告出来る機会等を設けるなどして、地域のリーダーに状況を報告していければと考えております。

稲荷通りについて

問 坂田地区整理が終わり、住宅が多く建ってきている。通勤

通学での駅前通り、稲荷通りの交通量は増えている中で、地域の方やPTAや交通指導員の方々から数カ所の危険箇所が指摘されている。安全面から今後、道路の幅を広げるなどの都市計画決定が本当にないのか、伺う。

答 昭和29年に都市計画決定しました

が、昭和44年に都市計画の位置づけを廃止した経緯などから、再び都市計画決定することは難しいと考えます。今後の社会情勢の変化など考えながら、見直しというのも行えるよう努めてまいります。

東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーについて



岡野 千枝子



問 桶川市の対応を伺う。

答 埼玉県は、茨城

県から聖火を受け継ぎ7月7日から9日までの3日間、リレーをして東京都に引き継ぎます。その内容は、1964年開催の東京オリンピックと同様に、上里町から中山道を進んで埼玉県庁に到着する聖火リレールートの実現を要望するもので、上尾市以北の中山道沿線8市2町合同で要望書を提出しました。

問 聖火リレーを誘致できた場合、警備や通行止めによる交通

などの影響を伺う。

答 3日間は平日のため、交通の影響が想定され周辺の交通対策や参加者、観覧者の安全確保の対策が必要とな

ります。また、聖火リレーのスタート時あるいはゴール時の際にセレモニーを開催することも想定されます。

聖火リレーの誘致が実現した場合は、東京オリンピック・パラリンピックという世紀の祭典に市民の皆さんが参画できる機会なので、喜んで頂けるよう準備を進めていきたいと考えています。

後谷遺跡について

問 東京国立博物館

特別展に、ミミズク土偶と櫛、また、日仏友好160周年のパリ展にミミズク土偶が展示されたことについて伺う。

答 国の文化審議会

出土品は、関東地方における縄文時代後期から晩期にかけての生業や技術、精神活動を知る上で極めて重要な一括資料であることが評価されました。ミミズク土偶は、赤の漆で塗られている上、耳飾りをつけた様子が表現された貴重な例です。

また、櫛の刃が残った状態の赤漆塗りの櫛の出土は、全国的にも珍しく、縄文時代の漆工芸技術を復元する上で貴重との評価をされました。

問 市役所にレプリカを展示出来ないのか伺う。

答 大変高価な物なので管理や防犯を考えると検討します。



ミミズク土偶



漆塗りの櫛

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

猛暑対策等について



市川 幸三



問

室内温度対策としてクーラー活用

の他にグリーンカーテン、屋上緑化等があるが、これらは桶川市で普及しているか。また推奨しているか伺う。

答

市では地球温暖化対策の推進に係る法律に基づき、温室効果ガスの排出抑制に向けて桶川市環境に優しい庁内率先行動計画を策定しています。

この中で、公共施設において緑化を推進し、建物の屋上緑化やグリーンカーテン設置に努めているところですが、また日差しを和らげる、よしずやすだれの使用も推奨しています。

市民や事業者に対しては毎年4月に広報で温暖化対策としてグリーンカー

テン設置などを推奨しています。

問

桶川市は熱中症に対する注意を、一人暮らし高齢者への個別対応について伺う。

答

市は一人暮らしの高齢者等を対象とした緊急通報システムにボタンを押すとコールセンターに繋がって、必要に応じて緊急要請したり相談が出来るシステムというものになっておりますが、月に一度、お元

電話連絡を行っています。6月から9月は特に熱中症等に関する注意喚起をこの確認時に行っています。また、注意が必要と思われる方に対しては、地域包括支援センターの

職員やケアマネジャー等が訪問の際に随時注意喚起を行っています。民生委員や高齢者安心見守りネットワークの協力員には、地域の高齢者等に対して熱中症予防についてのチラシ配布等のご協力をお願いしています。

排水溝の蓋かけについて

問

安心安全な社会構築のためにもインフラ面で蓋かけは必要と思うが如何か。

答

側溝や法面を含めた道路敷地の幅員を道路幅員として道路区域に指定していますが、道路幅員のうち通行可能な幅員を一般的に有効幅員と呼んでいます。

側溝に蓋をかけた法面に擁壁を設置すれば有効幅員が広くなり、道路としての機能が充実しますことから、取り組みとしては進めていくべき事業であると考えております。

市街化調整区域の農業の現状と上尾道路沿線の土地活用について



新井 孝雄



問

加納地域、川田谷地域等市街化調整区域での農地の量的状況や農家戸数等従事者の状況と5年間での変化については。

答

農業振興地域面積1340haで、農用地が約48%、白地が約52%となっており、2015年の作付地が410haと5年前と比べ2割減少しています。

田んぼが減少し畑地が増加傾向にあり、農家戸数は2010年の61戸が563戸と減少し、販売農家が2割程度減少しています。2015年の従事者年齢は、平均63.1歳と年々高齢化しています。

答

大規模経営者は次世代後継者も農業に取り組んでおり、農地の集約化や効率化のための機械・設備整備への支援や経営体からの問合せや要望についても、県やJAとの情報共有をし、連携して対応に努めています。

問

1ha以上の借入地がある経営体が16あるというが、今後の農業法人化についての対応は、どのような考えか。

答

ほとんどが個人の経営体ですが、法人化に向けた問合せ等には積極的に情報収集に努め、相談受付の体制をとっております。

問

上尾道路等の整備による環境変化があるが、農業施策としての土地の活用の検討は。

答

農地の活用方向性については、幹線道路という視点からは、アクセスの良さから観光や体験農園といったものは可能性があり、農地所有者に対して制度周知や開園意向の情報収集を図っていきたいと考えております。

問

上尾道路等広域道路沿線の活性化、税収確保のための土地利用計画の策定の進捗は。

答

桶川北本インフラ1周辺への物流施設等産業計施設や沿道型サービス施設の誘導を図っております。当該地域が農振農場区域で整理すべき課題も多い状況ですが、地域経済活性化に寄与するエリアであると認識しておりますことから、産業基盤づくりや沿道利用支援について国・県に要望をしております。また、34年度からの次期市総合振興計画に、土地利用の基本的考えを整理し、活用の可能性を検討してまいります。

坂田西区画整理について



相馬 正人



問 新地番の振り直し
の時期はいつに
なるのか伺う。

答 平成31年2月9
日をもって新しい
丁目、地番に変更となる
予定です。

問 自治会の割り振
りはどうのように変
わるのか。

答 現時点では区画
整理地内の区長さ
んからは、区画整理によ
って自治会の割り振りを
見直すという話は伺って
おりません。

問 新しい自治会の
割り振りについて
は、区長だけの意見で決
まるものなのか。

答 自治会につきま
しては、その会員
である地域住民によって
運営されております。年
間の事業計画や予算など

を初め、集会所の建設、
また地区の分割や統合な
どの意思決定につきまし
ても、自治会員の意思決
定機関であります総会に
よって決定されるものと
理解しております。

坂田東地区では
どのようなにして決
まったか。

答 区画整理地内
の域内での住民ア
ンケートを参考にして、
旧の坂田東部自治会が決
定したと伺っています。

問 設置基準はどの
ようになっている
のか。

答 集合住宅を除き
利用者が5世帯以
上で、1世帯当たり0.2平

方メートルで最低でも2
平方メートル以上の有効
面積を確保していただく
ことをお願いしています。
設置場所につきまして
は、収集に際し作業が安
全に確保でき、車両が容
易に通り返けることがで
きる道路に面した場所
であることなどをお願い
しています。また、新たに
ごみストッカーなどを設
置する場合には、収集作
業員が収集しやすく、利
用者が清掃しやすいう
ように、原則全面が開くよ
うな形状のもので、床面に
固定していただく等転倒
しないようにしていただ
くようお願いしています。

問 改修や補修の際
は市から補助金は
支給されるか。

答 桶川市コミュニ
ティ推進事業補助
金として、ごみ集積所の
整備に對しましては補助
金を交付しています。補
助率としては工事費、設
置費等の4割で、上限と
して100万円ということ
で補助をしています。

問 他市町の設置理
由に感銘を受けた。
設置の検討を。

答 スペースの問題
もございませぬので、

子どもの権利に関する条例の制定



星野 充生



問 温水シャワーの
設置を望む声を中
学校の教員から聞く。近
隣自治体の設置状況を。

答 11校中8校に設置
しております。鴻巣市は
シャワーの設置はござい
ませんでしたが。北本市は
中学校4校全てに設置を
しております。伊奈町は
中学校3校全てに設置し
ております。他市町のシ
ャワーの設置理由は、主
に排泄を失敗した生徒の
ためと伺っております。

問 体罰・不登校と子
どもの人権につ
いて

答 体罰ではないか
と疑われた場合、
どのような対応を。
事例が起きた場合、
学校は単に懲戒行為をし
た教員や、児童生徒、保
護者の主観のみによる判
断だけではなく、校内組
織の活用なども図りなが
ら、事実関係を正確に把
握し判断していくことが
重要だと考えております。
不登校解決は登
校とは言い切れない。
登校しないという方
法も、子どもにとってひ

問 今年、幼児がネ
グレクトで亡くな
り、両親が逮捕される事
件、そして体罰にかかわ
る裁判が起きた。子ども
の人権、命を行政だけで
なく、地域も大人も子ど
もも考えていかななくては
ならない時期にきている。
子どもの権利に関する条
例の制定を。

答 学校の登校する
という結果のみを
目標にするのではなく、
児童生徒がみずからの進
路を主体的に捉えて、社
会的に自立することを目
指す必要があります。今
後も不登校児童生徒一人
ひとりが抱える課題を十
分に理解した上で、家庭
と学校、また関係機関が
連携を図りながら、より
よい状態に進んでいける
ような支援をしてまいり
たいと存じます。

問 制定している自
治体等の状況につ
いて調査、研究してい
ればと考えております。

今後大規模改修工事を行
う際に、シャワー室の設
置が可能かどうかを検討
させていただきます。

とつの道であるべき。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

子育て支援について



仲又 清美



問

本市は、平成23年度から、『幼児

2人同乗用自転車購入費補助金交付制度』を、他市に先駆けて継続し毎年50件ほどの利用があり子育て世代に大変喜ばれている。しかし、購入費用は、5万円から7万円、電動式は、13万円から15万円と高額のため、3万円助成しても自己負担額が大きく安価なママチャリにチャイルドシートをつけて乗っている市民も多くヘルメットやチャイルドシートのみの助成はできないのか伺う。

答

補助金の交付は、現在、自転車本体と一緒に購入したヘルメット、チャイルドシートが対象です。

問

1人目からヘルメット、チャイル

ドシートはいる。3人乗り自転車と同時に購入ししか助成できないのは公平ではない。使用期間も幼児が6歳未満と短くて高額だけに悩みどころだ。東松山市は、社会福祉協議会が『3人乗り電動アシスト付き自転車』を、レンタルしている。本市もレンタル事業にチャレンジしてみないか。

答

レンタルを行っている事例等、ニーズを捉えて研究したいと思えます。

歩道の安全対策について

問

公明党が100万人アンケート調査を行った際、歩道の安全対策についての意見が多くあった。側溝に関するこ

答

とでは、森林や畑等の土砂で側溝が埋まりゲリラ豪雨等で道路が冠水して万が一の事故が起こらないよう安全点検することが大事だと思うとの意見に、市の考えを伺う。

問

側溝は、蓋がかかっていいため目の安全点検は難しいが、道路パトロールや住民の通報で側溝の排水不良が確認された場合は、速やかに対応します。

問

緑石に関することでは、坂田寿線拡幅工事期間中の緑石乗り上げ事故を防止するための安全対策について意見があるが対策は。

答

反射板やラバーポールを設置して乗り上げの防止をします。

問

メインの歩道の植栽ますや雑草が死角になるとの意見がある。植栽ますの整備の高さ基準を設けてはどうか。

答

基準はないが新たな目線のご指摘を受け適正な管理に努めてまいります。

学校における熱中症対策



島村 美貴子



問

小中学校における熱中症の発生状況は。

答

診断を受けた児童は、桶川小2名、東小2名、朝日小1名です。林間学校、校外学習、新体力テスト等での発症です。

また、桶川中は2名で、運動部活動の県大会中の発症です。

問

児童、生徒合計で7名となります。通常の通学や授業での発症は。

答

暑さによる体調不良を訴えて、保健室に来室した児童、生徒数は、市内全校で合計50名程度でした。

問

水筒について、学校により差異はありますが、お

問

茶、水、スポーツドリンク等を指定しています。小学校では、通学途中や授業中も水分の補給を許可しています。

問

学校によってはスポーツドリンクを許可していないが、教育委員会のお考えは。

答

特に運動時に失われた水分の補給に関して、非常に有効だと考えています。

問

許可をしているのであれば、教育委員会として、各学校に指示をしていただき、保護者、教員等にも、その旨を伝えていただきたいが、お考えは。

答

校長会議等を通じて、各学校に、話をしたいと考えています。ラッシュガードの着用や日焼け止

めの使用について、許可されているのか。

答

個々の児童、生徒の状況に合わせて、対応しています。

問

着用可について周知して頂きたいが、いかがか。

答

学校長と協議をして参ります。

問

暑さ指数の管理はしているのか。

答

熱中症の事例を見ると、湿度の影響を大きく受けている。暑さ指数も、各学校で管理するよう、お願いしたい。

答

暑さ指数は、気温と湿度を計算して出されています。各教室や体育館等にある気温計に湿度も表示されていると思いますが、暑さ指数が自動的に表示されるものは、全てには設置していません。



健康長寿埼玉プロジェクト事業について



江森 誠一



問 健康長寿埼玉プロジェクトの概要について伺う。

答 健康長寿埼玉プロジェクトは、誰もが毎日健康で医療費を抑え、生き生きと暮らすことのできる健康長寿社会の実現を目指す為に実施されています。事業メニューは、一日一万歩運動と筋力トレーニング運動が有り、県より三年間補助金が交付されます。

問 参加者数の年度別内訳と年齢層について伺う。

答 まず、27年度は108人、28年度が155人、29年度は180人です。また、60歳以上の方が147人で、全体の約8割を占め、最高齢の方は86歳、平均年齢で申しますと67.3歳という状況です。

問 参加者への運動成果をどの様に報告し、成果に対する指導方法はどの様に実施されたのか伺う。

答 運動成果につきましては、参加者へのフィードバックとして、事業全体の報告書とまず配布し、あわせて参加者個々に結果表を作成し、今後の取組みのアドバイスを入れ、個々に報告を行いました。

問 この事業の目的として医療費の抑制があげられるが、その効果について伺う。

答 国民健康保険のデータを使用し、参加者と不参加者の月平均医療費の比較検証を行い、新規者と継続参加者では多少差はありますが、平均医療費は概ね抑制されています。

れました。

小中学校における子ども議会の開催について

問 2020年には、市制施行50周年を迎えるが、この記念事業として子ども議会の開催を要望するが考えを伺う。

答 子ども議会については、行政や議会に対する理解を深めるといった効果も考えられますので、子ども議会の先進事例の情報収集等も行い、方向性についてしっかりと研究してまいります。

問 高校生を含めた子ども議会のあり方について、教育長の考え方を伺う。

答 主権者教育の充実という観点並びに児童の権利に関する条例の趣旨の尊重という観点から見ても、子ども議会の開催は、とても意義のあることと、私個人は思っているところでございます。

4億4千万円の飛行学校整備工事 落札業者の資格は虚偽



北村 文子



問 工事入札後の審査で、配置予定の技術者の資格は、どのように確認したのか。

答 旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場復興整備工事の入札公告は、配置予定の技術者の条件に、木造建築工事15年以上か、文化財建造物修理工事のいずれかの実務経験と、管理技術者資格を有すると判断しました。

問 有すると、しています。大野建設(株)が出した資料では、木造建築工事の実績が43カ月しかない。告示の条件に合っていると、なぜ判断したのか。

答 15年以上の間に、木造建築工事を、コンスタントに実施していたという事で、資格を有すると判断しました。

本件入札の公告日までに、以下のいずれかの工事における実務経験及び管理技術資格を有すること。

- 木造建築工事（15年以上）
- 文化財建造物修理工事（近代木造洋風建築）

工事(委託業務)名	工期(履行期間)	職 責	期間
新築工事	1996.10月~1997.4月	現場代理人	7ヶ月
三谷飛行場整備工事	2000.12月~2001.3月	"	4ヶ月
在野飛行場整備工事	2002.12月~2003.3月	"	4ヶ月
新築工事	2004.9月~2004.12月	"	4ヶ月
新築工事	2006.11月~2007.4月	"	6ヶ月
成金田A号新築工事	2010.10月~2011.2月	"	5ヶ月
成金田B号新築工事	2014.9月~2015.3月	管理技術者	7ヶ月
川口大田サテライト新築工事	2016.8月~2017.1月	"	6ヶ月

大野建設株式会社提出資料 業務歴は4年も満たない

問 どこでわかるのか。子どもが見てもこの間木造工事を15年やった証拠はどこにもない。15年をたった43カ月で済ませようなんて、とんでもない。桶川市は信用されなくなる。ほかの業者を探すか、検討し直すべきだ。

答 仕様書に「協力業者は重要文化財建造物修理の実務経験者」とあるが、名古屋の応札業者を下請けにすることはないか。

答 こちらの仕事に携わっていません。

新庁舎 ひび割れの調査は

問 コンクリートのひび割れの調査結果が出たが、1階33カ所、2階60カ所だ。構造体部分は何カ所か。原因を把握する調査計画を作っていたか。

答 構造体は55カ所です。議員心配のように、はりのひび等も確認し、今後も善処していきたいと考えています。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

江川調節池工事に伴う市道1-4号線の安全な通行確保を求める



佐藤 正広



問 本年から江川調節池の工事が始まった。今年度の工事の予定と完成までの見通しを伺う。

答 埼玉県北本県土整備事務所より、今年度は江川の左右岸に工事用の仮設道路を築造するほか、調節池本体の掘削に一部着手する予定と伺っています。平成31年度には掘削工事を進めるほか、西中学校の南側の市道3213号線の橋梁かけかえ工事にも着手していくと伺っています。

問 特に道路脇の水道となっているが、非常に凹凸がひどく、早急な

答 施工が本格化すると27台のダンプカーが1日に4往復すると伺っております。

問 改修が求められる。

答 当面は現在の水路上のふたのがたつきなど、現地を確認しながら修繕工事等で対応してまいります。

下日出谷第2公園のごみ置き場を改善して

問 下日出谷第2公園にある駐輪場が数十軒分のごみの集積所になっており、周辺住民からも苦情が寄せられている。改善を求める。

答 公園管理者として、望ましい状況ではございませんので、地区の区長様とも相談しながら、ほかに立地の適地があるのか、検討してまいります。

問 吉見町での広域ごみ処理施設建設

答 にはいろいろ問題も指摘されている。やはり市で自前の施設建設に取り組みべきではないか。

答 県内の市町村の状況など情報収集しながら、今後のごみ処理につきましては、常にごみ処理が適正にできるように対処してまいります。

買物難民の対策について



新妻 亮



問 買物難民に対して、市の認識を伺う。

答 買物難民とは流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の買い物困難な状況に置かれている人々を指すもので、全国で約700万人と推計されており、増加傾向にあります。桶川市においても大型ショッピングセンターが郊外へ進出し広い範囲から集客が図られ、高齢者など自動車を持たない買物弱者が取り残されてしまう状況が市内全域にわたって存在するものと考えています。

問 他市の取り組みを参考にする事例を伺う。

答 近隣の鴻巣市では民間のスーパー

問 買物難民の市の対策として移動販売を行う事ができないか伺う。

答 移動販売の導入は車がない方、商店から離れて生活している方にとっては非常に有用な事と認識しております。ただ、民間事業者の採算面や、既存の商店への影響など、考慮すべき点も考えなければいけないところがあります。メリット、デメリットを整理しながら、今後関係部署と連携しながら、先進事例を研究していければと思っております。

問 桶川市のシテイセールスについて

答 深谷市が行ったマスコットキャラを使用した西武ライオンズとのコラボグッズの開発、オリンピック、ラグビーW杯を活用した発信ができないか伺う。



答 コラボのグッズにつきましては、オケちゃんの著作権を保有している桶川市観光協会、相手方の意向を確認する必要があります。

そういった事から、どのようなことが実現可能か、検討してまいります。

ラグビーW杯に関してはご当地キャラによる埼玉ラグビー応援団ゆる玉ファイティーンのメンバーにオケちゃんも加入いたしました。9月23日に桶川市で開催されますラグビーW杯1年前イベントの会場にてラグビーを着たオケちゃんが登場して、本市とラグビーW杯をPRする予定です。

議会からのお知らせ

定例会のお知らせ

12月定例会は11月29日(木曜日) 9時30分開会で、会期日程は以下の予定で調整中です。

(※議長の公務や事業等の都合により変更する場合があります。)

[会期日程(案)]

11月29日	開会日
12月4日～6日	常任委員会
7日・10日～12日	一般質問
14日	閉会日

9月議会の開会前に、議場において市民団体の「桶川市吟剣詩舞連盟」様のご協力による詩吟の発表会を実施しました。(8月30日 写真)



◆9月議会本会議傍聴者数

月日	人
8/30	13
9/4	1
9/14	1
9/18	11
9/19	15
9/20	2
9/26	10
合計	53

意見交換会を開催しました

市議会の常任委員会では、それぞれの所管事務に関わる市内の団体と、意見交換会を実施しました。

- ・総務常任委員会(7月19日開催)

団体：桶川市交通指導員交友会

テーマ

「交通指導員の現状と課題について」

- ・民生経済常任委員会(8月7日開催)

団体：桶川市民生委員・児童委員協議会

テーマ

「民生委員・児童委員の現状等について」

- ・建設文教常任委員会(8月8日開催)

団体：桶川市建設業協会

テーマ

「建設業の社会的役割と課題について」

※意見交換会は傍聴できます。次回の開催は、ホームページ等でお知らせします。

市議会における北海道胆振東部地震災害義援金募金活動

平成30年9月12日、桶川駅において、市職員と市議会議員有志が、街頭募金活動を実施しました。募金総額150,321円は日赤を通じて被災地にお届けしました。

大変多くの方にご協力をいただき、ありがとうございました。

声の市議会だよりのご利用を

桶川市議会では、ボランティアの皆さん(紅花の会)のご協力により「声の市議会だより」を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

議会中継のお知らせ

議会での審議の様子をインターネットで録画配信しています。議会インターネット中継は、市ホームページから市議会の議会中継を検索いただくか、次の検索方法又はQRコードから検索してください。

◎検索方法は です。



編集後記

今年はいくつかの災害に見舞われました。夏の猛暑7月豪雨や台風の襲来。そして、大阪府北部などの地震で多くの方が被災されました。お悔やみ、お見舞いを申し上げます。災害をなくすことは難しいですが、被災者を無くす事は人間の英知で出来るはず。ハード面はコンクリートの強化でソフト面は助け合う心の絆の強化で。まずは、一人ひとりができる範囲で「目の前の人を、どうすれば喜ぶか」を考え行動することだと思います。

(岩崎)

議会だより編集委員会

委員長	島村美貴子
副委員長	岡安政彦
委員	新妻亮
委員	星野充生
委員	北村文子
委員	岩崎隆志
委員	加藤ただし
委員	佐藤洋

桶川市議会

『第16回議会報告会』開催のお知らせ

桶川市議会では、市民の皆様には、議会で決定した内容や経過などを説明し、議会活動についての状況を知っていただくために、下記の日程で議員による議会報告会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時

☒ 平成30年 11月 10日 (土曜日)
午前10時00分 ~ (1時間半程度)

開催場所

☒ 桶川市役所 全員協議会室

※市役所 5階です。

(桶川市泉1-3-28)

★正面入口から
エレベーターをご利用ください。

報告概要

☒ 平成30年9月 (第3回)

定例会の内容 (決算審議等) について

※ 平成29年度一般会計・特別会計決算審議、条例等の議案審議について、議会での議決までの経過報告をします。

※ 当日の資料は11月2日以降、議会HPで事前にご覧いただけます。

☒ 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

主催：桶川市議会 / 問合せ先：桶川市議会事務局 048-786-3211

市民の皆様
のご参加を
お待ちしております
！



桶川市マスコットキャラクター
オケちゃん



新庁舎 議場